

＜福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ＞
(6月16日 午後3時現在)

平成23年6月16日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

福島第一原子力発電所は全号機（1～6号機）停止しています。

1号機（停止中）

- ・ 3月12日午後3時36分頃、直下型の大きな揺れが発生し、1号機付近で大きな音があり白煙が発生しました。水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月23日午前2時30分頃、給水系から原子炉への海水注入を開始しました。
- ・ 3月25日午後3時37分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
現在の注水量は、給水系配管から約4.5m³/時です。
- ・ 原子炉格納容器内に水素ガスが蓄積している可能性があることから、酸素濃度の上昇を防止する観点より、4月6日午後10時30分より格納容器内に窒素ガスの注入に関わる弁操作を開始し、4月7日午前1時31分より、注入を開始しました。

2号機（停止中）

- ・ 3月15日午前6時頃に圧力抑制室付近で異音が発生、同室の圧力が低下しました。
- ・ 3月26日午前10時10分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
現在の注水量は、給水系配管から約5m³/時です。

3号機（停止中）

- ・ 3月14日午前11時1分頃、1号機同様大きな音とともに白煙が発生したことから、水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月25日午後6時2分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
現在の注水量は、給水系配管から約11.5m³/時です。

4号機（定期検査で停止中）

- ・ 3月15日午前6時頃、大きな音が発生し、原子炉建屋5階屋根付近に損傷を確認。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

5号機（定期検査で停止中）

- ・ 安全上の問題がない原子炉水位を確保しております。
- ・ 3月19日午前5時、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- ・ 3月20日午後2時30分、原子炉は冷温停止状態となりました。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

6号機（定期検査で停止中）

- ・ 安全上の問題がない原子炉水位を確保しています。

- ・ 3月19日午後10時14分、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- ・ 3月20日午後7時27分、原子炉は冷温停止状態となりました。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

使用済燃料プールの冷却作業

- ・ 5月31日午後5時21分、2号機の使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- ・ 6月16日午後1時14分、仮設の放水設備による4号機への注水を開始しました。(午後1時48分、ヒドラジン〔腐食防止剤〕を併せて注入開始)
- ・ 今後とも使用済燃料プールの状況を確認しながら、必要に応じて放水・注水を実施したいと考えています。

その他

- ・ 4月26日午後1時30分、構内において放射性物質飛散防止剤の散布を開始しました。また、5月27日より1号機タービン建屋への放射性物質飛散防止剤の散布を開始しました。今後、他の1～4号機タービン建屋および原子炉建屋への放射性物質飛散防止剤の散布を順次実施します。
- ・ 5月1日午後2時、6号機タービン建屋内から仮設タンクへ溜まり水の移送を開始しました。
- ・ 5月10日午前11時、6号機原子炉建屋地下から同号機廃棄物処理建屋へ溜まり水の移送を開始しました。
- ・ 6月4日午後6時39分から6月16日午前8時40分まで、2号機タービン建屋の立坑(トレンチ)から集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)へ滞留水の移送を行いました。
- ・ 6月11日午後0時42分、2号機原子炉建屋内の環境改善のため、局所排風機の運転を開始しました。
- ・ 6月13日午前10時頃、2、3号機スクリーンエリアに設置した循環型海水浄化装置の運転を開始しました。
- ・ 6月14日午前10時5分から6月16日午前8時46分まで、3号機タービン建屋から集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)へ滞留水の移送を行いました。
- ・ 6月15日午前10時33分から6月16日午前9時52分まで、1号機復水器から復水貯蔵タンクへ滞留水の移送を行いました。
- ・ 6月15日午前11時5分頃、物揚場で1号機原子炉建屋カバー設置準備工事のためクレーン組み立て作業を行っていた協力企業作業員1名が全面マスクを外して喫煙していたことを確認したため、ホールボディカウンタを受検した結果、内部被ばく線量の値は極めて小さく身体へ影響のないレベルであることを確認しました。
- ・ 安全の確保に向け全力を尽くすとともに、引き続き周辺環境のモニタリングを継続・監視しています。

以上